

ひだか病院の病床廃止について

趣 旨

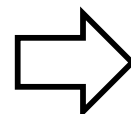
和歌山県地域医療構想に基づく事業再構築に基づき、病床の機能分化・連携推進を図るため、病床廃止等事業として、一般急性期病床を用途転換及び削減（返還）し、産前産後ケア事業を実施。

場 所

一般病棟 7階

病床機能区分

【変更前】 一般病床（急性期） 183床



【変更後】 一般病床（急性期） 173床

事 業 内 容

現在、ひだか病院は、許可病床が一般病床273床、精神病床100床、感染症病床4床の377床、病床機能別では高度急性期8床、急性期183床、回復期82床で運営。

和歌山県地域医療構想に基づく事業再構築に基づき、病床の機能分化・連携推進を図るため、病床廃止等事業として産婦人科、小児科等の病棟である7階病棟の10床を廃止し、2人部屋の4室を個室に、また1室を産後ケア事業の実施を行うデイルームに転換整備。